

報告日
令和7年6月3日

報告回次
1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	盛岡地域環境制御技術研究会			代表者名	高橋隆幸
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	盛岡広域振興局農政部	連絡先電話番号	019-629-6599
担当者役職	主任主査	担当者氏名	葉上恒寿	連絡先E-mail	
住所	O20-0023 岩手県盛岡市内丸11番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	岩手県	連絡先部署	盛岡農業改良普及センター		
担当者氏名	山崎穂	連絡先電話番号	019-629-6734	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	データ駆動型農業推進事業		
概要	管内の施設園芸では、施設内のモニタリングデータを活用した環境制御技術への関心が高まっている。環境制御機器導入により十分な増収効果等を得るには、データ活用に関する理解が重要であることから、データ活用の有用性およびその手法を学ぶ機会を設けることで、生産性の向上に加え、環境制御技術導入に向けた機運の一層の醸成を図る。				
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 農林水産業				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年5月27日	講演&フォローアップ(実地)	9時00分	15時00分	
				活動時間（分）	360

2-2.

派遣場所	会場名	太田地区活動センター	最寄駅	盛岡駅
	所在地	盛岡市中太田深持9	最寄駅からの交通手段	レンタカー

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	生駒 祐一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	ポテンシャル収量と実収量との差から、どの時期に、どのような要因により減収したのか振り返る「引き算思考」の考え方は、データ活用を進めるための導入として非常に分かりやすく、参加者の納得も大きかったものと思われた。また、実際の気象データを用いたデータの読み方の解説は、どのようなポイントに注目してデータを読めばよいか理解を深めるとともに、今後の栽培への活用につながる有益なものだと感じられた。参加者とやり取りをしながら、双方向で研修を進める対応も理解増進につながったものと思われた。
アドバイザーへの要望事項	実際に圃場を確認しながらのアドバイスも行っていたきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	41人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	13	22	6	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	管内の施設園芸では、施設内のモニタリングデータを活用した環境制御技術への関心が高まっている一方、データ活用に関する理解が十分とは言えず、技術導入の成果が得られていない経営体も散見される。そのため、データ活用の有用性およびその手法について、基礎的な部分から理解を深め、環境制御技術の導入及び活用推進に繋げる必要がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	当管内で作付が多い施設トマト類を対象に、環境制御機器や収集データを有効に活用した生産性及び品質の高いトマト生産を可能にし、生産者の所得向上を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「引き算思考」による減収要因の可視化手法 - 気象データの読み解き方 - 上記手法等を活用した未来の栽培暦の作成(ワークショップ)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	「引き算思考」により、それぞれの栽培における現状分析が進み、課題が明確となった。 - 気象データを読み取る上で、どのような点に着目すればよいか理解が進んだ。 - 現状分析と気象データの対応に加え、予測思考を組み入れた未来の栽培暦の作成手法を習得した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	「引き算思考」に基づく現状分析シート - 気象データの活用に関する知見 - 未来の栽培暦シート	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	センサデータの活用による気象及び環境データの適時把握・分析手法の解説については次回以降に持ち越しとなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 全3回の研修を通じ課題解決を図ることとしており、アンケートは最終回に実施する予定である。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
	本事業を通じ、まずは環境制御技術の基礎の習得を進める。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	当管内で作付が多い施設トマト類を対象に、環境制御機器や収集データを有効に活用した生産性及び品質の高いトマト生産を可能にし、生産者の所得向上を図る。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

